

八戸自動車道

漆畑橋床版更新工事発注用図面作成

特 記 仕 様 書

令和 6 年 5 月

東日本高速道路株式会社 東北支社
管理事業部 構造設計チーム

目 次

	頁
第1章 総則	
1－1 調査等概要	1
1－2 適用する共通仕様書	1
1－3 管理技術者の経験及び資格	1
1－4 現場作業責任者の資格	2
1－5 照査技術者の資格	2
1－6 配置技術者	2
1－7 資料の貸与	2
1－8 受注者相互の協力	3
1－9 計画工程表	3
1－10 調査等打合簿の作成及び提出について	4
1－11 工事記録情報の作成及び提出について	4
1－12 想定業務規模について	4
第2章 業務細部に関する事項	
2－1 業務の概要	5
2－2 工事発注用図面作成	5
2－3 設計打合せ	7
2－4 交通費・日当・宿泊費	8
2－5 電算機使用料	8
第3章 補足事項	
3－1 設計図書の変更及び追加が予想される内容	8
添付資料	
様式－1 工事記録情報 完了届	

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 八戸自動車道 漆畑橋床版更新工事発注用図面作成

1-1-2 道路名 東北自動車道 八戸自動車道

1-1-3 履行箇所 東北支社管内

1-1-4 主な履行内容

【対象橋梁】

道路名	I C間等	橋梁名	上部工形式	上下線
東北自動車道	松尾八幡平 I C～安代 J C T	星沢橋	鋼2径間連続箱桁 1連	上り線
		黒沢橋	鋼2径間連続鈑桁 1連	上り線
		赤坂田橋	鋼2径間連続鈑桁 1連	上り線
		新田橋	鋼2径間連続箱桁 1連	上り線
		保戸坂橋	鋼2径間連続鈑桁 1連	上り線
八戸自動車道	安代 J C T～浄法寺 I C	漆畑橋	鋼4径間連続鈑桁 1連	上り線
		馬場橋	鋼2径間連続鈑桁 1連	上り線

【履行内容】

内訳書の項目	数量	単位	備考
工事発注用図面作成			
橋梁上部工A	1	連	星沢橋（上り線）
橋梁上部工B	1	連	黒沢橋（上り線）
橋梁上部工C	1	連	赤坂田橋（上り線）
橋梁上部工D	1	連	新田橋（上り線）
橋梁上部工E	1	連	保戸坂橋（上り線）
橋梁上部工F	1	連	漆畑橋（上り線）
橋梁上部工G	1	連	馬場橋（上り線）
電算機使用料	1	式	
設計打合せ	1	式	

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和5年7月版とする。

1-3 管理技術者の経験及び資格

1-3-1 管理技術者の経験

管理技術者の経験については、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1－3－2 管理技術者の資格要件

共通仕様書 1－7－1「管理技術者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1－4 現場作業責任者の資格

共通仕様書 1－8－2「現場作業責任者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1－5 照査技術者の資格

共通仕様書 1－9－2「照査技術者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1－6 配置技術者

共通仕様書 1－11 の規定によらず、次のとおりとする。

当該業務にかかる入札前の競争参加資格申請書、参加表明書または技術提案書（以下「参加表明書等」という。）を発注者に提出した調査等にあたっては、管理技術者、現場作業責任者または照査技術者は、参加表明書等の「配置予定管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者の経験及び能力の資格・実績等、成績等の記載欄」に記載した者を原則として契約期間中配置しなければならない。なお、死亡、傷病、退職、出産、育児等やむを得ない理由により、配置することが困難となった場合は、その理由及び別に配置する技術者の氏名、資格及び業務経験等を記載した書面を付して監督員の承諾を得なければならない。なお、監督員の承諾を得て新たに配置する技術者は、原則として下記の要件を満足する者でなければならない。

- （１）当該業務の入札公告（説明書）に示す「管理技術者、現場作業責任者、または照査技術者に求めた資格及び業務経験」と同等以上の資格及び業務経験を有する者。
- （２）手持ち業務が当該業務の入札公告（説明書）で示されている場合は、手持ち業務件数及び金額を超えない者。

1－7 資料の貸与

共通仕様書 1－15－1「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱い は監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備 考
対象橋梁の完成図	—	契約締結後	電子データ (TIFF データ)
床版更新設計事例	東北自動車道 保戸沢橋床版更新工事 発注用図面作成	契約締結後	電子データ

1－8 受注者相互の協力

共通仕様書 1－20 「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備 考
東北自動車道 歌内川橋床版更新工事発注用図面作成	R5. 11. 28 ～ R6. 11. 21	日本工営（株）	東日本高速道路(株)	隣接施行
八戸自動車道 滝野橋床版更新工事発注用図面作成	未定	未定	東日本高速道路(株)	隣接施行

1－9 計画工程表

1－9－1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1－14－1 「作業計画書の提出」（２）に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1－7 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期及び共通仕様書 1－22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項 目	対象構造物	備 考
工事発注用図面作成	橋梁上部工 A	星沢橋（上り線）	鋼 2 径間連続箱桁
	橋梁上部工 B	黒沢橋（上り線）	鋼 2 径間連続鈑桁
	橋梁上部工 C	赤坂田橋（上り線）	鋼 2 径間連続鈑桁
	橋梁上部工 D	新田橋（上り線）	鋼 2 径間連続箱桁
	橋梁上部工 E	保戸坂橋（上り線）	鋼 2 径間連続鈑桁
	橋梁上部工 F	漆畑橋（上り線）	鋼 4 径間連続鈑桁
	橋梁上部工 G	馬場橋（上り線）	鋼 2 径間連続鈑桁

1－9－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－22 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－14－3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

る。

1-10 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1-11 工事記録情報の作成及び提出について

（１）共通仕様書 1-43-1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 5 年 7 月版とする。

（２）受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式—1）を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

（３）工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路(株)東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1-12 想定業務規模について

本業務において想定する業務規模は下表のとおりである。なお、契約制限価格の設定に際しては、下表によらず参加表明者より提出のあった参考見積書（見積活用方式様式 2）に基づき設定する。

内訳書の項目	単位	人工	備考
工事発注用図面作成 橋梁上部工 A	連	約 45 人	技師 B 換算
工事発注用図面作成 橋梁上部工 B	連	約 45 人	技師 B 換算
工事発注用図面作成 橋梁上部工 C	連	約 5 人	技師 B 換算
工事発注用図面作成 橋梁上部工 D	連	約 45 人	技師 B 換算
工事発注用図面作成 橋梁上部工 E	連	約 45 人	技師 B 換算
工事発注用図面作成 橋梁上部工 F	連	約 55 人	技師 B 換算
工事発注用図面作成 橋梁上部工 G	連	約 45 人	技師 B 換算

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の概要

本業務は、本特記仕様書1-1-4「主な履行内容」に示す対象橋梁について、床版更新工事における工事発注用図面作成を実施するものである。

2-2 工事発注用図面作成

2-2-1 適用

工事発注用図面作成とは、対象橋梁の建設時設計資料等に基づき鋼橋の老朽化対策として、床版更新を実施するにあたり、設計計画、設計計算、線形計算、数量算出、図面作成、計画概要書作成を行うものである。

なお、本特記仕様書2-2-1（2）設計計算によらない構造図面の作成は、本特記仕様書1-7「資料の貸与」で示す成果品を準用し、配筋図等構造細目を変更せず行うものとする。

（1）設計計画

受注者は、設計図書及び監督員の指示に従って、対象橋梁の建設時設計資料等に基づき、施工性を考慮し、当該構造物の床版更新のための工事発注用図面作成の方法を計画するものとする。

（2）設計計算

対象橋梁の建設時設計資料や設計事例等に基づき、詳細な計算は省略するものとする。構造計算が必要となった場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

（3）線形計算

共通仕様書5-7-3「基本設計」（3）に準じ実施する。

（4）図面作成

- 1）当該構造物の建設時設計資料等を準用し、床版更新の形状、主要寸法及び使用材料の種別及び数量を把握できる程度の図面を作成するものとする。
- 2）設計図面の範囲及び内容は、下表のとおりとする。

図面種別		図面の内容
使用材料表		
橋梁位置図		平面図
一般図		建設時及び更新後の一般図を作成し、設計条件及び主要材料の許容応力度を記入する。
線形図		計算座標位置図、計算数値表
構造一般図		骨組図または外形図
床版配筋図		割付図、標準断面図、配筋図
壁高欄配筋図※		割付図、標準断面図、配筋図
撤去工図		舗装及び既設床版の撤去工図
付属物撤去・設置図	撤去	割付図

	設置	割付図 標準構造図（橋面工、伸縮装置、排水装置、検査路、橋名板及び橋歴板、防護柵（土工部擦り付け）、遮音壁、通信管路、落下物防止柵、はく落対策、表面保護工）
--	----	---

※プレキャスト壁高欄の配筋図は不要とする。

3) 床版配筋図及び壁高欄配筋図においては鉄筋の加工図は不要とする。

4) 付属物撤去・設置図は建設時設計資料等より、床版更新に伴い撤去・再設置が必要な付属物の数量を算出し、平面図にその割付図を示すものとする。設置にあたっては、撤去時と同数量の割付図を作成し、標準構造図は建設時と同等程度の現存する仕様・規格等の図面を作成するものとし、構造詳細図は作成しない。

(5) 計画概要書

計画概要書には、次の検討事項を記載するものとする。

- 1) 床版更新の規模
- 2) 道路、鉄道、河川等との横過条件
- 3) 概略の施工順序、施工方法及び問題点
- 4) 工程短縮を考慮した既設床版等撤去及び新設床版施工におけるクレーンの規模・台数・配置位置、打設等の施工計画検討

(6) 数量算出

数量算出は、土木設計数量算出要領により行うものとし、工事の積算に必要な材料の数量を計算するものとする。

2-2-2 内訳書の区分

工事発注用図面作成の内訳書の区分は、下表のとおりとする。

種 別	類似区分	数量(連)	設計条件	設計区分	備 考
橋梁上部工A	A	1	設計長（桁長）：115.282m 有効幅員：10.25m 設計活荷重：TL-20、TT-43 斜角：50° 00' 00"	工事発注用図面作成	星沢橋 （上り線） A1～A2 （床版一括断面）
橋梁上部工B	A	1	設計長（桁長）：75.650m 有効幅員：10.50m 設計活荷重：TL-20、TT-43 斜角：43° 10' 55" ～46° 45' 00"	工事発注用図面作成	黒沢橋 （上り線） A1～A2 （床版一括断面）
橋梁上部工C	E	1	設計長（桁長）：75.100m 有効幅員：10.50m 設計活荷重：TL-20、TT-43	工事発注用図面作成	赤坂田橋 （上り線） A1～A2

			斜角 : 34° 00' 00"		(床版一括断面)
橋梁上部工D	A	1	設計長 (桁長) : 137.099m 有効幅員 : 10.50m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 50° 00' 00"	工事発 注用図 面作成	新田橋 (上り線) A1～A2 (床版一括断面)
橋梁上部工E	A	1	設計長 (桁長) : 84.400m 有効幅員 : 10.25m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 47° 20' 00"	工事発 注用図 面作成	保戸坂橋 (上り線) A1～A2 (床版一括断面)
橋梁上部工F	A	1	設計長 (桁長) : 145.800m 有効幅員 : 9.00m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 75° 00' 00"	工事発 注用図 面作成	漆畑橋 (上り線) A1～A2 (床版一括断面)
橋梁上部工G	A	1	設計長 (桁長) : 100.800m 有効幅員 : 9.00m 設計活荷重 : TL-20、TT-43 斜角 : 75° 00' 00" ～80° 50' 42"	工事発 注用図 面作成	馬場橋 (上り線) P3～A2 (床版一括断面)

なお、表中における類似区分とは、共通仕様書 5－7－6 「類似構造物の取扱いによる設計区分」《上部工》によらず、下表のとおりとする。

区 分	作業内容	摘 要
A	類似構造物の基準となる構造物で設計計画、設計計算、図面作成、数量計算、設計照査を行う設計をいう	
E	区分Aの設計計画及び区分Aの設計計算に基づき区分Aの図面の一部を修正し、数量計算を行い、成果品を作成する設計をいう	設計計算及び線形計算は行わない。区分Aの図面修正及び数量算出のみ。

※構造計算が必要となった場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする

2－2－3 成果品

共通仕様書 5－7－7 「成果品一覧表」の基本設計に準ずるものとする。

2－3 設計打合せ

設計打合せは下記のとおり行うものとする。

- (1) 業務着手時及び業務完了時には管理技術者が立ち会うこと。
- (2) 打合せは、東日本高速道路株式会社東北支社で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

- (3) 打合せの回数は業務内容確認検査及び完了検査を含め5回とする。打合せの検測数量は1式とし、履行状況により打合せ回数が増減した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いが監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-4 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費とは、本特記仕様書2-3「設計打合せ」に示す打合せの実施に当たり必要となる交通費・日当・宿泊費をいう。

2-5 電算機使用料

電算機使用料とは、本業務で実施する工事発注用図面作成に必要な電算機使用料をいう。内訳書の項目の区分は下表のとおりとするが、監督員が必要と判断した場合は数量変更及び追加を行うものとする。

内訳書の項目	数 量	備 考
工事発注用図面作成 電算機使用料A	1 式	星沢橋
工事発注用図面作成 電算機使用料B	1 式	黒沢橋
工事発注用図面作成 電算機使用料D	1 式	新田橋
工事発注用図面作成 電算機使用料E	1 式	保戸坂橋
工事発注用図面作成 電算機使用料F	1 式	漆畑橋
工事発注用図面作成 電算機使用料G	1 式	馬場橋

第3章 補足事項

3-1 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、関連する事項の業務内容を変更又は追加する場合があるため、受注者は監督員と緊密な連絡をとるとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。この場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

- (1) 関係機関協議等に伴う施工方法の変更

以 上

監督員

_____ 殿

受 注 者
管理技術者

_____ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名	東日本高速道路株式会社 東北支社		
調 査 等 名	八戸自動車道 漆畑橋床版更新工事発注用図面作成		
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。